安全データシート

フルオロ酢酸

改訂日：2024-01-29　版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: フルオロ酢酸
CB番号	: CB6212623
CAS	: 144-49-0
同義語	: フルオロ酢酸

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 殺鼠剤原料 (NITE-CHRIPより引用)
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

(物化危険性及び健康有害性)

JIS Z7252:2019準拠 (GHS改訂6版を使用)

R2.3.13、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改訂版 (ver1.1)) を使用

物理化学的危険性

-

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)　区分1 (腎臓、生殖器 (男性))

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)　区分1 (中枢神経系、心血管系、呼吸器)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性　区分1

皮膚腐食性/刺激性　区分1

急性毒性 (経口)　区分1

分類実施日

(環境有害性)

H18年度、GHS分類マニュアル (H18.2.10版) (R1年度、分類実施中)

環境に対する有害性

-

GHSラベル要素

絵表示

GHS06	GHS09

注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと生命に危険 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 重篤な眼の損傷 中枢神経系、心血管系、呼吸器の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、生殖器 (男性) の障害

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは,医師の診察/手当てを受けること。 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。 特別な処置が必要である(このラベルの・・・を見よ)。 注)”…”は、ラベルに解毒剤等中毒時の情報提供を受けるための連絡先などが記載されている場合のものです。ラベル作成時には、”…”を適切に置き換えてください。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: フルオロ酢酸
別名	: モノフルオール酢酸
濃度又は濃度範囲	: 情報なし
分子式 (分子量)	: C2H3FO2 (78.04)
CAS番号	: 144-49-0
官報公示整理番号 (化審法)	: 情報なし
官報公示整理番号 (安衛法)	: 情報なし
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは,医師の診察/手当てを受けること。
人工呼吸が必要なことがある。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入: 咳、咽頭痛、息切れ、息苦しさ、筋痙攣、錯乱、不整脈、症状は遅れて現われることがある
皮膚: 吸収される可能性あり、発赤、重度の皮膚熱傷、痛み
眼: かすみ眼、重度の熱傷
経口摂取: 口や喉の熱傷、腹痛、痙攣、ショック/虚脱、他の症状については「吸入」参照

応急措置をする者の保護

応急処置を行うときは、保護手袋を着用する。

医師に対する特別な注意事項

この物質により中毒を起こした場合は、特別の処置が必要である。

---

5. 火災時の措置

適切な消火剤

小火災: 粉末消化剤、二酸化炭素、散水 大火災: 粉末消化剤、二酸化炭素、耐アルコール泡消化剤、散水

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

不燃性。火災時に、刺激性あるいは有毒なヒュームやガスを放出する。

特有の消火方法

危険でなければ、容器を火災の場所から移動する。 容器内に水を入れてはいけない。 消火後も大量の水を用いて容器を冷却する。

消火を行う者の保護

自給式呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険区域から立ち退く。

専門家に相談する。

個人用保護具: 自給式呼吸器付完全保護衣

下水に流してはならない。

こぼれた物質を、ふた付きの 密閉式容器内に掃き入れる。

残留分を、注意深く集める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

汚染された衣服を、バッグ又は容器に入れ密閉し、隔離する。

接触回避

「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること (毒劇物)。

食品や飼料から離しておく。

換気のよい部屋に保管する。

安全な容器包装材料

消防法、国連危険物輸送勧告で規定された容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会 (2019年度版)

未設定

許容濃度

ACGIH (2019年版)

未設定

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

呼吸用保護具と併用して、顔面シールド又は眼用保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

物理状態	固体 (20℃、1気圧) (GHS判定)
色	無色 (ICSC (2017))
臭い	無臭 (ICSC (2017))
データなし	
該当しない	
1.37 (水=1) (ICSC (2017))	
1.27 mmHg (25℃) (EST) (HSDB (Access on October 2019))	
log Kow = 0.03 (EST) (HSDB (Access on October 2019))	
水:混和 (ICSC (2017)) エタノールに可溶 (HSDB (Access on October 2019))	
該当しない	
データなし	
データなし	
該当しない	

該当しない

該当しない

不燃性 (ICSC (2017))

165℃ (ICSC (2017))

35.2℃ (ICSC (2017))

融点/凝固点

35.2℃ (ICSC (2017))

沸点、初留点及び沸騰範囲

165℃ (ICSC (2017))

可燃性

不燃性 (ICSC (2017))

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

該当しない

引火点

該当しない

自然発火点

該当しない

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

該当しない

溶解度

水:混和 (ICSC (2017)) エタノールに可溶 (HSDB (Access on October 2019))

n-オクタノール/水分配係数

log Kow = 0.03 (EST) (HSDB (Access on October 2019))

蒸気圧

1.27 mmHg (25℃) (EST) (HSDB (Access on October 2019))

密度及び/又は相対密度

1.37 (水=1) (ICSC (2017))

相対ガス密度

該当しない

粒子特性

データなし

---

10. 安定性及び反応性

反応性

「危険有害反応可能性」を参照。

化学的安定性

情報なし

危険有害反応可能性

加熱により分解すると、フッ化物などの 非常に有毒なヒュームを生じる。 多くの化学物質と反応し、有毒で引火性のガスを生じる。

避けるべき条件

混触危険物質との接触

混触危険物質

強酸化剤、塩基

危険有害な分解生成物

フッ化物などの 非常に有毒なヒューム、有毒で引火性のガス

---

11. 有害性情報

急性毒性

経口

【分類根拠】

(1) より、区分1とした。

【根拠データ】

(1) ラットのLD50: 4.68 mg/kg (HSDB (Access on September 2019))

経皮

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

吸入: ガス

【分類根拠】

GHSの定義における固体であり、ガイダンスの分類対象外に相当し、区分に該当しない。

吸入: 蒸気

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

吸入: 粉じん及びミスト

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

【分類根拠】

(1)、(2) より、区分1とした。

【根拠データ】

(1) 皮膚との接触後には、火傷感、発赤及び重度の刺激性並びに疼痛性の組織損傷が生じるおそれがある。症状の程度はばく露濃度とばく露期間に依存すると考えられている (GESTIS (Access on September 2019))。

(2) 本物質は刺激性を有する (HSDB (Access on September 2019))。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

【分類根拠】

(1)~(3) より、区分1とした。

【根拠データ】

(1) 本物質は刺激性を有する (HSDB (Access on September 2019))。

(2) 高純度の本物質又は濃縮液との眼の接触後には、腐食作用により組織傷害及び角膜混濁、並びに重度の火傷の感覚及び視力低下を起こすおそれがある (GESTIS (Access on September 2019))。

(3) 本物質は皮膚腐食性 (区分1) に分類されている。

呼吸器感作性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

発がん性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

【参考データ等】

(1) フルオロ酢酸ナトリウム (CAS番号 62-74-8) をラットに21日間飲水投与した結果、精巣の形態変化を引き起こすことが報告されている

(ACGIH (7th, 2001))。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 (急性)

甲殻類 (オオミジンコ) の24時間LC50 = 230,000 μg/L (AQUIRE (2003)) から、区分外とした。

水生環境有害性 (長期間)

難水溶性でなく (水溶解度 = 1.00×106 mg/L (PHYSPROP Database (2005)))、急性毒性が低いことから、区分外とした。

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

2642

国連品名

FLUOROACETIC ACID

国連危険有害性クラス

6.1

副次危険

-

容器等級

I

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

該当しない

国内規制

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

陸上規制情報

道路法、毒物及び劇物取締法、消防法の規定に従う。

特別な安全上の対策

道路法、毒物及び劇物取締法、消防法の規定によるイエローカード携行の対象物

その他 (一般的) 注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号*

154

---

15. 適用法令

労働安全衛生法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

該当しない

毒物及び劇物取締法

毒物(法第2条別表第1)【25 モノフルオール酢酸】 特定毒物(法第2条別表第3)【8 モノフルオール酢酸】

消防法

貯蔵等の届出を要する物質(法第9条の3・危険物令第1条の10五別表1)【7 モノフルオール酢酸】

道路法

車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)【3 フルオロ酢酸】

航空法

毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)【【国連番号】2642 フルオロ酢酸】

船舶安全法

毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表第1)【【国連番号】2642 フルオロ酢酸】

港則法

その他の危険物・毒物類(毒物)(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)【2チ フルオロ酢酸】

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)【12 フッ素及びその化合物】

下水道法

水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)【26 ふっ素及びその化合物】

水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)【25 ふっ素及びその化合物】

土壌汚染対策法

特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)【22 ふっ素及びその化合物】

---

16. その他の情報

略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA:国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

参考文献

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)https://www.nite.go.jp/

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp

【2】化学物質審査規制法(化審法)https://www.env.go.jp

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

免責事項：
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本

MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。